

県立高等学校適正化実施計画における 再編等対象校代表生徒との懇談について（報告）

1 対象校

奈良朱雀高等学校、西の京高等学校、平城高等学校、高円高等学校、登美ヶ丘高等学校、奈良情報商業高等学校、大宇陀高等学校、榛生昇陽高等学校、大淀高等学校、吉野高等学校（計10校）

2 実施日

平成30年9月18日（火）～10月29日（月）

3 主な意見と要望

【大淀高等学校・吉野高等学校】

実施日：平成30年9月18日（火）

参加生徒：大淀高等学校 3名 吉野高等学校 3名

出席者：吉田教育長、森本委員

- 部活動について、日本拳法をやっているが、奈良県に3校しかない。存続させて欲しい。
- 他の学校には食堂がある。大淀にはない。コミュニケーションの場としてもぜひ食堂をつくってほしい。
- 統合によって、校歌はどうなるか。大淀の校歌をそのまま残して欲しい。
- 統合して両方の校舎を使う場合、両校の校舎が遠いが、どうなるか。
- 木工の工作機械が古い。新しいものとはいかないまでも、なるべくいい機械を入れて欲しい。
- 土木が書いていない。土木科は伝統がある。YCC（吉野シビルクラブ：コンクリートカヌーの製作など）などの学びもでき、やりたい生徒もいる。
- 伝統ある大高遠足をやめることになるのか。両校のいい伝統を残して欲しい。
- 体育祭などの行事への参加はどうなるか。1年奈良南、2・3年大淀・吉野の場合。
- クリーン作戦は残して欲しい。
- エアコンの設置をしてほしい。
- 校名に違和感がある。

【西の京高等学校】

実施日：平成30年10月1日（月）

参加生徒：8名

出席者：吉田教育長、森本委員

- なぜ、西の京高校が再編の対象となったのかについて、詳しく聞きたい。
- 耐震化の問題と関係があるのか。
- 「3校を2校に」という言い方がわかりにくく3校が合併するような誤解を生んでいる。3校と新たにできる2校との関係を説明してほしい。
- 西の京高校は県立大学と高大連携しており、県立大学附属高校になって地域を重視した学びを深めていくのはわかるが、登美ヶ丘高校や平城高校とのつながりが

よくわからない。

- 新たにできる2校である県立大学付属高校と国際高校の関係はどのようなものか。
- 新しい学校をつくるのだから校名を残せないことはわかるが、本校は特に地域に支えられてきた。新しい学校も地域の課題を学ぶ地域に寄り添った学校なのに、校名に地域の名称がないことに疑問を感じる。
- 部活動、制服、校歌などが変わっていくことに不安を感じている人が多い。部活動の保障をして欲しい。制服はかわいいので変わるならこれ以上のデザインを考えてほしい。
- 保護者や、地域の方に対しても説明して欲しい。特に、中学生その保護者に早く明確に発信して欲しい。地域創生等で取り組んできたことや、新しい学校の魅力がわからないと進路を選択するのが難しい。また地域の方々も大変心配してくださっている。

【登美ヶ丘高等学校】

実施日：平成30年10月3日（水）

参加生徒：2名

出席者：吉田教育長、上野委員

- 今後この校舎がどうなっていくのか。
- なぜ登美ヶ丘が国際高校の校地として選ばれたのか。
- 生徒のアンケートでは、「新しい学校になったとき形として登美ヶ丘を残してほしい」「名前が変わることが悲しい」という意見が多い。
- この計画はどうしても実行しないといけないのか。
- とてもいい学校なので終わりにしたくない。
- 国際高校と登美ヶ丘高校が同時に存在するようになる。普通科と国際科で授業内容も異なるがうまくいくのか。
- 先生をあまり変えないで欲しい。卒業してから学校に戻ったときに知らない先生ばかりだと寂しい。
- 秋風のコンサート（毎年10月に開催。生徒会が主催し、地域の行事として定着している。）のような行事は伝統として受け継いで欲しい。

【平城高等学校】

実施日：平成30年10月4日（木）

参加生徒：12名

出席者：吉田教育長、花山院委員

- 高校再編計画の目的は何か。なぜ平城高校が再編の対象となったのか。
- 3校から2校に再編というが、平城高校は、校舎も名前もなくなる。平城高校の芯の部分が失われてしまう。奈良高校に乗っ取られる気分である。たとえ「奈良高校」という校名になったとしても、奈良高校と統合する方がましである。
- なぜ奈良高校との統合にならなかったのか。
- 奈良高校が再編の対象にならないのは納得いかない。奈良高校が閉校する方が費用も時間もかからないのではないか。
- なぜ閉校の対象になる平城高生に意見を聞かなかったのか。
- なぜ生徒との懇談を今するのか。この意見が反映されることはあるのか。議決す

- る前にこうした場をもつべきでなかったのか。署名もあったのに遅すぎないか。
- 保護者は、関係者の意見を教育長に直接伝える場を要求している。
 - 納得を求めて懇談会に参加している。納得いくまで時間をとってほしい。
 - 次回こうした懇談会を開くのであれば、内容が広く伝わる工夫をしてほしい。

【奈良朱雀高等学校】

実施日：平成30年10月10日（水）

参加生徒：全日制 9名 定時制 6名

出席者：吉田教育長

- 奈良商工という名前は決定か。朱雀のまま続けられないのか。
- 空手道部は一つ上の先輩が作った部である。名前が変わると先輩の存在を失うような気持ち。名前が変わることで、よい思いはしない。
- みんなが苦勞して広めていった奈良朱雀の名前。名前を変えて欲しくないというのがぼくたちの意見。名前を変えないということは無理なのか。名前を変える意味は。
- 実学教育の内容充実は、奈良朱雀のままでできること。校名変更せずに適正化を考えることはできなかったのか。
- 校名は変えて欲しくないということをどれだけ話しても覆らない。今こうして話をする意図は何なのか。
- 名前以上に変わることはあるのか。
- 全日制と定時制が一緒になることはあるのか。人数が少なくなったら定時制がどうなるのか心配。定時制はどのように変わるのか。
- 奈良朱雀は、10年間で、商業と工業の学校として、広く知られるようになった。中学生からも興味を持ってもらっている。今回の再編で奈良朱雀はどこにいったのかということにならないか。
- 生徒も、奈良朱雀がなくなるわけではなく、奈良商工になるということを発信していくことができると思うが、どのような方法があるのか。

【大宇陀高等学校・榛生昇陽高等学校】

実施日：平成30年10月11日（木）

参加生徒：大宇陀高等学校 2名 榛生昇陽高等学校 2名

出席者：吉田教育長、高本委員

- 同じ学校で校舎が離れている。大宇陀に行くのにバス代がかかる。交通費はどうなるか。
- 部活動は校舎で分かれてするのか。どちらかでやるのか。
- 部活動の数はどうなるか。榛生昇陽には大宇陀にない自転車やウェイトリフティングがある。大宇陀にはフットサルがある。施設が榛生昇陽にしかないのか、この場合はなくなるのか。
- 校名1つで校舎は2つ。この場合、生徒会はどうなるのか。本部はどうなるのか。会長は各校舎1人ずつになるのか。
- 校舎を建て替えるが、グラウンドは使えるのか。部活動（野球）はできるのか。
- 新しい校舎は似たような形になるのか。中身をかえてつくるのか。
- 文化祭、体育大会はどちらかの校舎でやるのか。
- 部活動を2つの学校でやっていく中で、全国大会を目指せるような環境にしてほ

しい。

- 大宇陀は歴史が古く、地域に根ざした学校をめざしてきた。統合されたとしても、地域ボランティアなどをしていくような活動を取り入れて欲しい。
- 校舎が新しくなったら招待してもらえるか。視察させて欲しい。
- 榛生昇陽に球技大会がない。他の生徒からも球技大会をしたいという希望がある。
- 統合したら食堂をつくってほしい。
- 5秒礼という大宇陀の礼儀正しい作法は残してほしい。
- ライフクリエイトコースの命を大切にする教科は残してほしい。

【高円高等学校】

実施日：平成30年10月12日（金）

参加生徒：3名

出席者：吉田教育長

- なぜ「高円」を無くして、芸術高校となったのか。
- 高円の名前を残す署名活動をしたが、この署名をしたから「高円」の名前が残ったのか。署名しなかったとしても、決定したのか。
- 再編で署名活動していたが、300ぐらい集まったその用紙をまだ渡せていない。結局私たちがしなくても話が進んでいた。署名活動をした意味があったのかと思ってしまう。
- 高校の名前を変えることより、教育上の問題が他にもあり、改善すべき点があるのに、なぜ、先に名前の変更があったのか。
- 名前の変更より、他にすることがいっぱいある。学校が変わると、校歌も校章も制服も変わる。そんなことにお金を使うより、耐震工事とか体育館の雨漏りを直す等、他に使うところがある。
- 今回平城が無くなるように、このまま高校を減らしていくばかりだと、高校は大丈夫なのか。今後どうなっていくのか。
- 芸術高校なら、もっとわくわくするようなことをしてほしい。

【奈良情報商業高等学校】

実施日：平成30年10月29日（月）

参加生徒：8名

出席者：吉田教育長

- 総合情報科に在籍していたが、ITパスポートなどの資格取得をとおして、商業と情報の関係性に気付くことができた。情報科がなくなるが、このような商業科の中で関係性を活かしてほしい。
- 何を学ぶかを重視することには賛同する。まだまだ偏差値による偏見はすごく強いと感じるが、偏差値だけではなくて、自分から何をするかを決めることができるかが大事と思う。
- 人間性を磨くためには、ボランティア活動など校外での活動が大事と思う。その意味で、長期のインターンシップについても取り組みたいと思う。
- 校名変更を機会に、制服を検討しても良いと思う。今の在校生も検討に協力する。
- 校歌はどうなるのか。前回再編時に変わっていないのであれば、残してもよいのではないか。
- 校名が変わっても、奈情商の良さを、次につなげていくようにしてほしい。